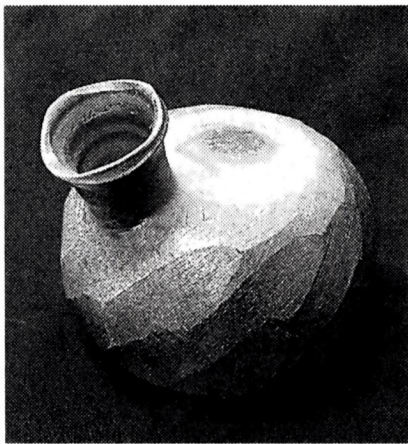


16作家の200点そろえ 日本料理店・大使館へ

アンテック
準備進める

陶芸用電子機器製造販売業のアンテック（瀬戸内市邑久町豆田）は、東京都内で備前焼のレンタル業を始める。貸出先として日本料理店や各国の大使館などを想定しており、まずは16人の作家による200点の商品を取りそろえる予定だ。5月ごろの事業開始を目指して準備を進めている。



花器や置物など200点を貸し出す＝（アンテック提供）

超えることもあるとい
い、同社はレンタル事業
ならば高い需要が見込め
ると判断した。

取り扱う商品は花器や
茶わん、皿など約200
点で最低1点から貸し出
す。結婚式場や各国大使
館で開かれるパーティー
のほか、季節ごとに器を
変える日本料理店を想定
し、1週間程度から1カ
月以上の長期にわたる貸
し出しにも対応する。

価格は各作品小売価格
の10～30％に設定する予
定で、在庫切れの商品に

注文があった場合は同社
が作家に発注し、作品を
買い取ったうえで貸し出
すという。

同社は本格的なレンタ
ル業に先駆け、4月には
都内の画廊を借りるなど
して備前焼作家の個展を
開く予定で、将来は都内
にできた顧客を県内に案
内し、備前焼の作家と交
流してもらうことも考え
ているという。

同社は陶芸用機器の製
造販売で備前焼の作家や
窯元と交流が深い。近年、
高価な備前焼の売れ
行きは減少傾向にあると
いう。一方で昨年末から
備前焼の作品を掲載した
同社ホームページのアク
セス数は1日500件を

平成18年1月25日 朝日新聞